

カーリングホールみよたの歩み

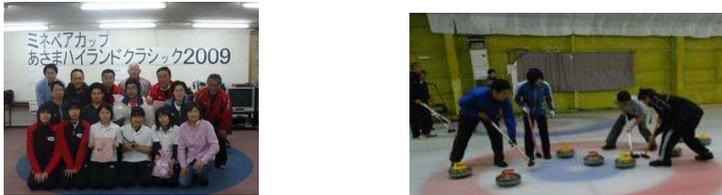
年	月 日	
種まき		
1937年 (S12)	2月	長野県諏訪湖周辺にカーリングクラブ誕生。初めてゲームが始まる。 (実際はドイツ式カーリング:アイスシーゼン)
		長野県諏訪湖上にて、第1回日本カーリング選手権大会を開催。 戦争拡大のため、札幌オリンピック返上とともに活動中断。
1947年 (S22)		長野県諏訪湖上でゲーム再開。
1965年 (S40)		長野県蓼科湖にて再開。
1984年	1月31日	茅野市蓼科湖にて蓼科カーリング協会、カナダ大使館職員による講習会を開催。
1987年		小林貞雄(NCA初代理事長)が弟の小林宏さん(長野五輪競技委員長)と塩尻市の百瀬さん(カナダへ農業研修生として行き、カーリングに出会う)の知識と経験に頼りながら、カーリングを佐久地方で始める決意をする。
	6月15日	昔から氷の文化があった佐久・御代田・軽井沢地方でカーリングを広げるべく、スピードスケートの仲間を誘い、佐久メイプルカーリングクラブを発足させる。 
		軽井沢プリンススケートセンターのアイスアリーナを借り、ハウスをペンで書き、石を運び、カーリングを楽しむ。 スケート以外の佐久・御代田・軽井沢地方の人々もカーリングに興味を持ち、次第にカーリングに集まるようになる。
	10月18日	長野県カーリング協会 発足 初代理事長 小林 貞雄氏 就任。 
		佐久・軽井沢の有志が、1998年冬季オリンピックを長野へ...を目標に活動をはじめます。
1988年	4月9・10日	第1回長野県カーリング選手権大会を全労災カップとして開催。 10年間大会の冠としてご支援いただいた。 
1989年	11月18～20日	長野冬季オリンピック招致委員会などのご協力により、本場カナダよりラスハワード氏をスキップとするナショナルチームを招待。 世界ジュニア選手権大会出場選手の育成に力を注ぐ。
	3月10日～12日	第6回 日本カーリング選手権大会(北海道、真駒内アイスアリーナ) 長野県からチーム「軽井沢グラニット」が男子の部初出場。  日本選手権出場メンバー 「軽井沢グラニット」 監督 上田 裕一 主将 長岡 秀昭 選手 土屋 長雄 選手 斉藤 道明 選手 藤巻 正

NPO法人あさまハイランドスポーツクラブ

1990年		長野冬季オリンピック招致委員会は「冬季競技5団体」にカーリングを加え6団体とする。 カナダより、パット・ライアン氏を招待しカーリングの普及と選手育成に力を注ぐ
1991年	6月15日	IOC総会でサラマンチ会長の「ザ、シティー・オブ……ナガノ」という発表により第18回冬季オリンピックの開催が長野に決定。
	7月23日	カーリング競技が「招致委員会」のご協力により正式種目として正式決定。 カナダより、レイタンブル氏を招待し、カーリングの普及と選手育成に力を注ぐ。
		長野県カーリング協会は、オリンピックの正式競技として決定したのを受けて、北海道協会に追いつけ、追い越せで競技力を向上させ、地元長野県からオリンピック選手を輩出させるために、カーリング専用シートを何としても建設したいと意見が一致した。 それまでの大会や練習はホッケーリンクを利用していた。 県内にカーリングを普及させることはできたが、カーリング技術を上達させるには何としても専用リンクが無いことには始まらない。 そんな熱い想いでカーリングのメンバー達は知恵や体力を惜しまずに、カーリングホール建設に適した場所を懸命に探す。
	11月	第1回パシフィックカーリング選手権大会兼世界選手権パシフィックゾーン選手選考会が神奈川県相模原市銀河アリーナにて開催された。オフィシャルな競技会の運営を経験。
1992年	3月	世界ジュニアカーリング選手権に長野県から女子選手4名が初出場。 
1994年		森泉輝夫が御代田町草越に利用していない建物を見つける。 持ち主は中越テック㈱(本社 東京)で段ボール工場の廃工場であった。 カーリングリンクにふさわしい大きさの建物であることを確認。 御代田町会議員の須佐さん(当時)に相談し、窓口になっていただく。
1995年	1月17日	長野県カーリング協会の中里七三雄会長と長野県カーリング協会のメンバーが、中越テック㈱に建物をお借りする交渉に伺い、当時社長の方川照氏のご了解を得て、借用在決定する。  

芽生え

1995年	3月	<p>県協会のメンバーが建物の掃除からはじめ、寒冷に耐えるよう壁に断熱材を吹きつけたり、土台を平行に保つために砂をいれたり、自力での作業を繰り返し、冷却パイピングを敷き、徹夜の水撒き作業を続け、初の専用リンクを完成させる。</p>	 
1995年	3月19日	<p>カーリングホールみよたオープン記念式典 3シートのカーリングホールみよたの開館には、多くの方々の深いご理解と多大なるご協力そして熱い魂があった。 土地、建物を提供していただいた中越テック様・中越興業様からは、その後も継続して多くの資金的援助もいただいた。 地域の企業・個人からもご寄付をいただく。 オリンピック選手の育成、強化につなげ、トップ選手の輩出すべく、専用リンクの環境が整う。 日本で初めてのクラブ形式による、カーリングホールの運営が開始された。</p>	
		<p>長野県カーリング協会で「カーリングホールみよた事業部」を立ち上げ、カーリングホールみよた事業部長・初代館長に森泉輝夫が就任。</p>	
1996年		<p>世界ジュニアカーリング選手権(カナダ・アルバータ州レッドディア)に女子日本代表フィフスとして、長野県より依田三華選手が出場。4位。</p>	
		<p>御代田中学の男子ジュニア(チームビクトリアス)がJOCジュニアオリンピック日本選手権大会に於いて優勝。メンバーは柏木寛昭、柳沢啓太、柳沢和人、中山隼</p>	
1997年		<p>長野オリンピックプレ大会として軽井沢町風越アリーナで開催された世界ジュニアカーリング選手に御代田中学ジュニア(チームビクトリアス)が日本代表として出場。4位入賞。 中越テック株式会社をあげて応援に来ていただいた。</p>	 
1998年		<p>2代目館長に柏木 昭憲が就任。</p>	
	2月	<p>長野冬季オリンピック開催。 カーリング競技の軽井沢開催によりカーリングが広くスポーツとして認知された。 オリンピック開催では日本各地、世界各国から大勢の運営スタッフが終結し、大会を成功に導いた。 カーリングホールみよたのメンバーも多数参加した。 その経験はカーリングの普及、強化はもちろん、地域に密着した活動のできるカーリングホールの運営についても生かされている。 若者から高齢者まで幅広い年齢の方々が生涯楽しむことのできる施設として更なる活動を続ける。</p>	 
2000年		<p>3代目館長 土屋和幸が就任。</p>	
2003年		<p>1Fコミュニケーションルームの建て増し工事。</p>	

成長		
2004年		4代目館長に土屋 美喜子が就任。
		総合型地域スポーツクラブ育成推進事業(文部科学省委託事業)育成指定クラブの申請。 事業構想:「地域に密着してカーリングを中心に、スポーツを愛する人たちが豊かなスポーツライフを送り、子ども達が夢と希望をもってスポーツのできる環境づくりを」 文部科学省委託事業の総合型地域スポーツクラブ育成推進事業とは 「生涯スポーツの実現を図るため、子どもから高齢者まで誰でも賀、年齢、興味、関心、技術レベルに応じて、いつでも参加できる総合型スポーツクラブを育成し、地域住民による自主的・主体的なスポーツクラブの組織化及び定着化を推進する。」ことを趣旨とする。
		車椅子カーリングの普及に伴いホールを車椅子対応の設備を整える。(トイレ増築等) 床板の張り替え、絨毯の張り替え工事。
2005年		平成17年度日本体育協会育成指定クラブ委託事業として認可される。 浅間高原総合型地域スポーツクラブとして発足。
		オフシーズンに幅広い年代に楽しめるニュースポーツのスポーツ吹き矢教室を開催。 以後、毎年教室を開催する。 
		スポーツ一般に必要な全身運動機能発達を目指して体操教室開催。(以後毎年開催) ソフトバレーボール大会、バドミントン大会、フロアーホッケー大会開催。
		スポーツキャンプの開催。 ジュニア層を中心に、基本的なトレーニング方法や怪我などに対する正しい知識を身につけるとともに、レクリエーションなどを通じて交流も深め、友達の輪が広がることを目的とする。 駐車場の舗装工事、玄関のバリアフリー対応工事など施設の整備もすすめる。
2006年		浅間高原総合型地域スポーツクラブの委託事業2期目の育成クラブとして承認され、事業の運営並びに会員を拡充。
		ホール開館から10年。会員数:成人会員80名、ジュニア会員30名となった。 国内唯一のクラブ形式で運営されるのカーリングホールみよたは、国外・県外からの利用者を受け入れ、年間通算6,000人余りとなった。 9月から4月までの間運営。
2007年		浅間高原総合型地域スポーツクラブの委託事業を2年で完了。 2007年度総合型地域スポーツクラブとして日本体育協会より認定され、クラブ名を改め「総合型地域スポーツクラブカーリングホールみよた」発足。
2008年		1F手洗い場の工事、喫煙場(外)屋根の設置。
	6月29日	「総合型地域スポーツクラブカーリングホールみよた」を発展的解消しNPO法人に移行することを総会で決定する。
開花		
2008年	7月3日	「総合型地域スポーツクラブ 特定非営利活動法人 あさまハイランドスポーツクラブ」発足する。 
		総合型地域スポーツクラブ NPO法人 あさまハイランドスポーツクラブの理事長に土屋美喜子が就任
2008年	10月29日	NPO法人登記
2009年	1月16日	土地2,989.42㎡及び建物817.92㎡を中越興業株式会社より購入。 その資金は48名からの年会費の前払いと銀行の借入れで実現する。
	4月11・12日	第一回ミネベアカップあさまハイランドクラシック 2009 実施 (prizemoney bonspiel) 

2009年	7月22日	カーリングホールみよた恒例ゴルフコンペ軽井沢900(優勝千葉氏)	
	10月3日	東京カーリングクラブよりタイマー3台寄贈	
2010年	1月9日	第一回黒澤正憲杯(信州カーリングマスターズ2010)開催	
	3月	「2010バンクーバーパラリンピック」初出場(参加10チーム・3勝6敗・10位)・車椅子カーリング10年目	
	10月17日	AHSC杯・実業団対抗カーリング大会(ブレ大会)開催8チーム参加	
	12月5日	東大生との交流会(参加66名)	
	12月22日	平成24年度「スポーツ振興くじ助成金・クラブマネージャー」申請	
2011年	3月31日	ミネベア育成資金授与式(信州チェア他4チーム)	
	2月	御代田広報誌「やまゆり」カーリング談義3回連載	
	4月	長野県広域スポーツセンター 総合型地域スポーツクラブ「ビジネモデルのスヒト」TOPで紹介	
2012	4/13~3/31	総合型地域スポーツクラブ「スポーツ振興くじ助成金・クラブマネージャー」交付決定 (山本仁氏クラブマネージャー就任)エンジョイサイクリング/月平均5回開催	
	9月	NMB・CSR(企業の社会的責任)Reportにアマチュアスポーツ振興支援としてNPO法人・あさまハイランド スポーツクラブが取り上げられる。	
	10/8~3/8	御代田活性化プロジェクト・縄文人が愛した御代田にカーリングの文化を育てよう 「カーリングアカデミー開催」全24回特別公開講座 (共催) 10/24「カーリング文化論」講師・石坂友司(関東学園大学准教授 (元気づくり支援事業))	

カーリングホールみよた建設までの歩み